

## 2 1. 新規褥瘡発生率

### 算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

### 定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

### 指標の解説

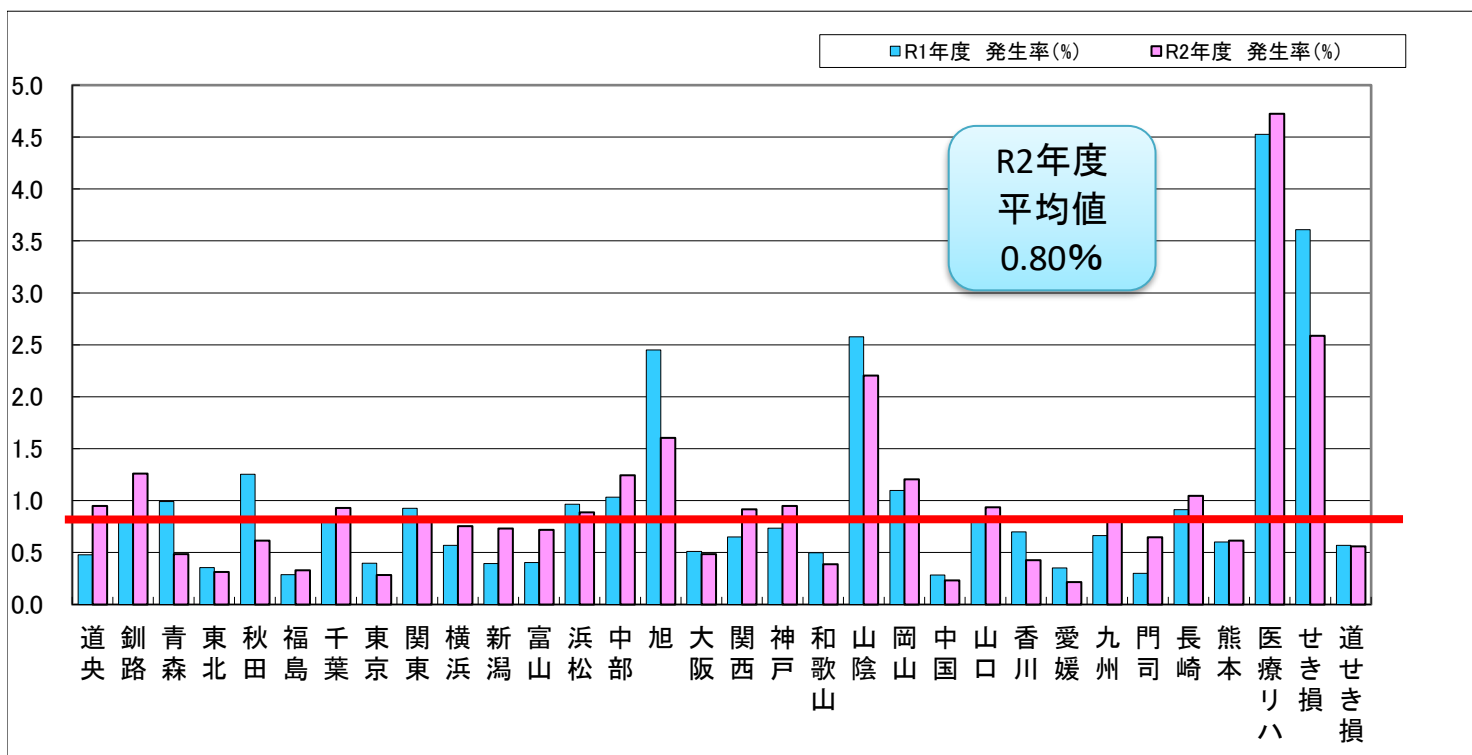
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

## 2.1. 新規褥瘡発生率



No	施設名	R1年度			R2年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	3,130	15	0.48	2,426	23	0.95
2	釧路	8,583	70	0.82	8,561	108	1.26
3	青森	3,932	39	0.99	3,914	19	0.49
4	東北	11,303	40	0.35	10,232	32	0.31
5	秋田	1,597	20	1.25	1,623	10	0.62
6	福島	5,928	17	0.29	5,766	19	0.33
7	千葉	11,105	92	0.83	10,446	97	0.93
8	東京	7,807	31	0.40	5,954	17	0.29
9	関東	15,457	143	0.93	13,297	111	0.83
10	横浜	18,986	108	0.57	15,783	119	0.75
11	新潟	2,024	8	0.40	1,780	13	0.73
12	富山	4,204	17	0.40	3,751	27	0.72
13	浜松	5,691	55	0.97	5,192	46	0.89
14	中部	9,968	103	1.03	9,092	113	1.24
15	旭	4,041	99	2.45	3,739	60	1.60
16	大阪	21,460	110	0.51	18,370	89	0.48
17	関西	18,471	120	0.65	16,611	152	0.92
18	神戸	5,985	44	0.74	5,060	48	0.95
19	和歌山	8,216	41	0.50	7,504	29	0.39
20	山陰	7,648	197	2.58	6,671	147	2.20
21	岡山	6,732	74	1.10	6,302	76	1.21
22	中国	8,402	24	0.29	7,799	18	0.23
23	山口	4,839	40	0.83	4,381	41	0.94
24	香川	9,451	66	0.70	8,883	38	0.43
25	愛媛	3,407	12	0.35	3,263	7	0.21
26	九州	10,575	70	0.66	8,990	72	0.80
27	門司	3,313	10	0.30	2,624	17	0.65
28	長崎	5,923	54	0.91	5,253	55	1.05
29	熊本	9,988	60	0.60	9,265	57	0.62
30	医療リハ	464	21	4.53	381	18	4.72
31	せき損	1,108	40	3.61	1,160	30	2.59
32	道せき損	1,401	8	0.57	1,432	8	0.56
合計		241,139	1,848	0.77	215,505	1,716	0.80
平均	500床以上	15,941	104	0.65	13,898	103	0.74
	400床以上	9,134	54	0.59	8,242	52	0.63
	300床以上	6,896	68	0.99	6,286	62	0.99
	300床未満	2,602	26	1.01	2,372	21	0.89